

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を中心とした土地利用型農業に施設園芸を組み合わせた複合的な営農が営まれている平地農業地域
- 大規模な農業法人や個人が多数営農しており、10年後を見据え担い手への農地集積を進めていく必要

【支援内容・背景】

- 当地区では、担い手への農地集積を進めるため、収益向上等を図ることが重要と考え、水稻後の麦栽培による水田の有効利用を推進。
- 助成対象者は地域の担い手として主食用米、裏作で小麦の栽培を行っており、作業の効率化に取り組み、更なる規模拡大を志向。  
このため、地区における農業経営改善の取組モデルとして支援。



助成対象者「合同会社ドリームファーム井手」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和60年 就農
- 平成30年 法人設立、小麦生産開始
- 令和元年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

- 水田の有効利用において「適期の播種」が重要であり、裏作の小麦は水稻収穫後の約2週間以内に耕運、施肥、播種を行う必要。
- 適期播種による品質向上や収量増、作業効率化による経営面積の拡大を図るため、機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R4年度〉

- 売上高 40百万円
- 付加価値額 3.6百万円
- 経営面積（小麦）1.5ha
- 経営面積（水稻）5.3ha

《事業による整備内容》

- トラクター(75PS)
- ロータリー 1式  
事業費 9,372千円  
(国費 2,556千円)
- 施肥播種機6条 1台  
事業費 880千円  
(国費 240千円)



【現在の経営状況】  
〈R5年度〉

- 売上高 52百万円 **(130%)**
- 付加価値額 13.6百万 **(378%)**
- 経営面積（小麦）5.1ha **(340%)**
- 経営面積（水稻）9.0ha **(176%)**

事業の  
効果

《対象者》 水稻収穫後、耕運から小麦播種までの作業合理化により収益が向上するとともに、経営規模が拡大。  
《地 区》 水田の有効利用を推進したことにより、農地の集積・集約化が図られ、農地流動化の促進、持続可能な農業経営モデルを確立。